災害からペットを守る

ペットとともに災害を乗り越えるために

■問い合わせ先
安全安心課
☎(32)8894

災害でペットを守ることができるのは「飼い主」だけです。ポイントは「平時の備え」。しっかりと準備しましょう。

まずは自分の安全を確保する

大災害では公的支援が始まるまでの間、自分や近所住民の力で災害を乗り越えなければなりません。下野市洪水ハザードマップなどを活用し、災害に備えましょう。

ペット用の避難用品や備蓄品を確保する

ペットのエサやトイレ用品、ブラシやお薬など、いつでも避難できるよう準備しておきましょう。

健康面やしつけ等、適正な飼育を行う

- ケージやキャリーバッグを用意しておきましょう。災害時にあわてないように、ケージなどに慣らす訓練をしましょう。避難の際は、途中でペットとはぐれないよう、ケージなどに入れて避難しましょう。
- 避難所で他人に迷惑をかけないように、普段から「おすわり」「待て」などの最低限のしつけをしておきましょう。
- ワクチン接種や寄生虫の駆除をしておきましょう。
- 災害時はペットもびっくりして逃げ出してしまうことがあります。迷子札やマイクロチップも有効な手段です。

環境省のホームページで確認しましょう

環境省ではガイドラインなどで詳しくペットの災害対策を定めています。

環境省ホームページをご確認ください。

避難所に避難したら

避難所では原則、人の居住スペースで一緒にペットを飼育することはできません。アレルギーのある方や鳴き声などに配慮し、居住エリアから離れた雨に濡れないような場所で、ケージなどに入れて飼育しましょう。ペットを飼育する人たちで掃除の時間などルールを決めて、適切に飼育しましょう。

ペットのための持ち出しリスト	
【優先順位1】命、健康に関わるもの	【優先順位2】飼い主やペットの情報の記録
5日分以上のフード、水	飼い主の連絡先
薬	ペットの健康状態や既往症、かかりつけ医の情報
予備の首輪、リード（伸びないもの）	ペットの写真
食器	ワクチン接種状況
ガムテープ（ケージなどの補強に使用）	【優先順位3】生活用品
	ペットシーツ、トイレ用品、排泄物の処理用具
	ブラシ、タオルなどの衛生用品

環境省パンフレット「備えよう！いつもいっしょにいたいから　ペット動物の災害対策」より

避難所の優先順位

避難所の優先順位を確認する・空いている避難所を確認する

災害規模に応じて避難所を開設する優先順位を設けています。台風等の水害時は優先的に第1次、第2次避難所を開設します。市からの避難所開設情報を確認してください。

橋が渡れない！　アンダーがくぐれない！

河川の越水、アンダーや高架橋の崩落などで市内の避難所に行けない場合を考慮し、壬生町、上三川町と協力し、避難者の受け入れを相互に行うこととしています。

壬生町は「南犬飼地区公民館」、上三川町は「明治小学校」「明治南小学校」「坂上小学校」に避難することができます。遠方で被災した場合は、無理に帰宅せず、最寄りの避難所などで安全を確保してください。

下野市洪水ハザードマップで確認

	避難所名	開設優先順位
南河内	ふれあい館	第1次
	南河内公民館	第2次
	緑小学校	第2次
石橋	スポーツ交流館	第1次
	古山小学校	第2次
	石橋北小学校	第2次
国分寺	国分寺公民館	第1次
	旧国分寺西小学校	第2次
	国分寺東小学校	第2次

【お詫びと訂正】

洪水ハザードマップで「薬師寺コミュニティセンター」の開設優先順位を「第２次」と記載していますが、「第３次」の誤りです。

お詫びして訂正いたします。